



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月2日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 井上 伸雄 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 2020年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	263,057	△2.2	11,194	△30.4	11,385	△32.8	5,643	△40.9
2019年11月期第2四半期	268,986	△5.6	16,088	0.8	16,937	2.4	9,556	5.4

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 7,232百万円 (△24.2%) 2019年11月期第2四半期 9,545百万円 (△13.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	39.45	—
2019年11月期第2四半期	66.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	440,217	277,031	53.7
2019年11月期	444,309	276,753	53.0

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 236,391百万円 2019年11月期 235,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年11月期	—	20.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年11月期の期末配当金につきましては、創業100周年記念配当5円を含んでいます。

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	△2.9	24,000	△25.1	24,200	△27.3	7,700	△58.8	53.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 2 Q	150,000,000 株	2019年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	2020年11月期 2 Q	6,958,420 株	2019年11月期	6,958,050 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 2 Q	143,041,757 株	2019年11月期 2 Q	143,042,781 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、経済活動は大きく制限され、世界経済の減速懸念は一層高まる状況となりました。

食品業界においては、新型コロナウイルス感染拡大を受け緊急事態宣言が発出され、外出自粛や営業時間短縮の要請などにより外食需要の低迷、巣ごもり消費による内食へのシフトなど食の消費行動で大きな変化が生じました。緊急事態宣言が解除され今後は緩やかに経済活動が再開される見込みですが、感染拡大が収束に向かったとしても、消費の回復には時間がかかることが想定されます。

食品物流業界においても、燃料調達単価は低位に推移しましたが、移動制限や外出自粛の影響により、外食需要が大きく減退したことに加え、内食需要は急激な需要の高まりにより、人手の確保や配送において調整が取りづらいう状況が続くなど、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中、当社グループにおいても食生活に関わる変化が業績に大きく影響していますが、食で多くの方々に笑顔をお届けできる存在でありたいという想いのもと、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献すると同時に社会的な課題に取り組み、広く共感されるグループをめざします。

また、政府や各自治体のガイドラインに基づき従業員の感染拡大の抑制に取り組み、お客様へ安全・安心な商品の継続した供給に努めています。さらに、各団体・企業・自治体と連携し食料の提供を行うなど食を通じた支援活動を進めています。

◇ 売上高

国内における調理・調味料事業、タマゴ事業の業務用商品の販売数量減少により、2,630億57百万円と前年同期に比べ△59億29百万円（△2.2%）の減収となりました。

◇ 利益

サラダ・惣菜事業が伸張しましたが、調理・調味料事業やタマゴ事業の業務用商品の売上減少、食油および鶏卵などの主原料価格の上昇により、営業利益は111億94百万円と前年同期に比べ△48億94百万円（△30.4%）、経常利益は113億85百万円と前年同期に比べ△55億52百万円（△32.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億43百万円と前年同期に比べ△39億13百万円（△40.9%）の減益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調理・調味料	91,770	87,528	△4,242	△4.6%
サラダ・惣菜	44,263	44,209	△54	△0.1%
タマゴ	49,038	45,441	△3,597	△7.3%
フルーツソリューション	7,857	8,341	484	6.2%
ファインケミカル	4,261	3,951	△310	△7.3%
物流	69,216	69,838	622	0.9%
共通	2,577	3,745	1,168	45.3%
合計	268,986	263,057	△5,929	△2.2%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調理・調味料	10,803	9,153	△1,650	△15.3%
サラダ・惣菜	1,164	1,662	498	42.8%
タマゴ	4,025	1,075	△2,950	△73.3%
フルーツソリューション	121	239	118	97.5%
ファインケミカル	377	393	16	4.2%
物流	2,114	1,107	△1,007	△47.6%
共通	781	734	△47	△6.0%
全社費用	△3,299	△3,173	126	—
合計	16,088	11,194	△4,894	△30.4%

調理・調味料

- ・家庭用マヨネーズ・調理食品は伸張したが、国内の業務用商品の販売不振により減収
- ・主原料価格の上昇や業務用商品の不振により減益

サラダ・惣菜

- ・日持ちを延長したカット野菜は伸張したが、業務用商品の販売不振により減収
- ・主力商品の売上増加や生産性の向上により増益

タマゴ

- ・国内の外食・製菓メーカー向け商品の販売数量減少により減収
- ・鶏卵相場上昇の影響や売上減少により減益

フルーツソリューション

- ・家庭用ジャム・スプレッドの伸張により増収増益

ファインケミカル

- ・ヒアルロン酸の販売不振により減収
- ・サプリメントの売上増加や収益性の改善により増益

物流

- ・共同物流などの新規取引や既存顧客の取扱拡大により増収
- ・新型コロナウイルス感染症による影響や省人化機器への投資が先行したことなどにより減益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収
- ・新規施設賃貸の遅れにより減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,402億17百万円と前連結会計年度末に比べ40億92百万円減少
主に受取手形及び売掛金の減少、建物及び構築物、機械装置及び運搬具の増加、建設仮勘定の減少による
- ・負債は、1,631億85百万円と前連結会計年度末に比べ43億71百万円減少
主に支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加、未払金の減少、引当金の増加による
- ・純資産は、2,770億31百万円と前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加
主に資本剰余金の減少、利益剰余金の増加による

◇ キャッシュ・フローの状況

・現金及び現金同等物の残高は、532億68百万円と前連結会計年度末に比べ35億8百万円減少
各キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権、仕入債務の減少、法人税等の支払いなどにより167億48百万円の収入
(前年同期は167億80百万円の収入)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより147億73百万円の支出
(前年同期は172億85百万円の支出)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、配当金の支払い、連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得などにより54億61百万円の支出
(前年同期は16億41百万円の収入)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2020年4月2日に公表しました2020年11月期の連結業績予想は、本日（2020年7月2日）発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2020年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。修正計画の詳細については、「2020年11月期 第2四半期決算補足説明資料」に記載しています。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,777	43,268
受取手形及び売掛金	83,651	75,650
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	17,392	19,181
仕掛品	2,354	1,355
原材料及び貯蔵品	9,089	9,920
その他	5,951	4,952
貸倒引当金	△426	△426
流動資産合計	174,790	163,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	183,036	191,513
減価償却累計額	△108,069	△110,322
建物及び構築物（純額）	74,966	81,190
機械装置及び運搬具	179,442	183,989
減価償却累計額	△123,953	△123,010
機械装置及び運搬具（純額）	55,488	60,979
土地	52,178	52,662
建設仮勘定	15,268	5,834
その他	26,184	28,299
減価償却累計額	△16,627	△17,067
その他（純額）	9,557	11,231
有形固定資産合計	207,459	211,899
無形固定資産		
のれん	989	880
その他	8,931	10,056
無形固定資産合計	9,921	10,936
投資その他の資産		
投資有価証券	27,225	27,235
退職給付に係る資産	9,898	10,558
その他	15,192	15,867
貸倒引当金	△177	△183
投資その他の資産合計	52,138	53,478
固定資産合計	269,519	276,314
資産合計	444,309	440,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,299	48,876
短期借入金	7,322	9,320
未払金	20,406	15,189
未払法人税等	4,208	4,087
引当金	3,146	4,396
その他	10,622	10,535
流動負債合計	99,006	92,406
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,616	42,999
退職給付に係る負債	3,306	3,325
資産除去債務	1,187	1,197
その他	11,440	13,256
固定負債合計	68,550	70,779
負債合計	167,556	163,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,483	27,808
利益剰余金	196,551	198,574
自己株式	△15,862	△15,863
株主資本合計	234,276	234,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,045	8,899
繰延ヘッジ損益	6	△2
為替換算調整勘定	△3,241	△3,270
退職給付に係る調整累計額	△4,534	△3,858
その他の包括利益累計額合計	1,275	1,768
非支配株主持分	41,201	40,639
純資産合計	276,753	277,031
負債純資産合計	444,309	440,217

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	268,986	263,057
売上原価	203,106	202,973
売上総利益	65,879	60,083
販売費及び一般管理費	49,790	48,889
営業利益	16,088	11,194
営業外収益		
受取利息	45	69
受取配当金	251	246
持分法による投資利益	73	69
補助金収入	345	46
その他	638	458
営業外収益合計	1,354	891
営業外費用		
支払利息	151	185
支払手数料	75	147
為替差損	107	23
その他	171	343
営業外費用合計	505	699
経常利益	16,937	11,385
特別利益		
固定資産売却益	80	29
投資有価証券売却益	—	9
事業譲渡益	643	—
その他	75	2
特別利益合計	798	41
特別損失		
固定資産除却損	450	542
減損損失	642	49
その他	103	412
特別損失合計	1,196	1,005
税金等調整前四半期純利益	16,538	10,421
法人税等	5,302	3,577
四半期純利益	11,236	6,844
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,679	1,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,556	5,643

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）
四半期純利益	11,236	6,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,908	△157
繰延ヘッジ損益	10	△12
為替換算調整勘定	△426	△168
退職給付に係る調整額	634	726
その他の包括利益合計	△1,690	387
四半期包括利益	9,545	7,232
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,908	6,136
非支配株主に係る四半期包括利益	1,637	1,096

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,538	10,421
減価償却費	9,186	9,821
減損損失	642	49
のれん償却額	127	109
持分法による投資損益(△は益)	△73	△69
引当金の増減額(△は減少)	1,779	1,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△479	42
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△126	△660
受取利息及び受取配当金	△297	△316
支払利息	151	185
固定資産除売却損益(△は益)	385	525
事業譲渡損益(△は益)	△643	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,117	7,964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△378	△1,617
仕入債務の増減額(△は減少)	233	△4,839
未払金の増減額(△は減少)	△1,841	△2,139
その他	△441	417
小計	23,648	21,146
利息及び配当金の受取額	308	318
利息の支払額	△164	△187
法人税等の支払額	△7,011	△4,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,780	16,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,245	△12,384
無形固定資産の取得による支出	△3,691	△2,459
投資有価証券の取得による支出	△24	△15
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△61	△90
長期貸付けによる支出	△369	△293
長期貸付金の回収による収入	29	27
事業譲渡による収入	643	—
その他	435	441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,285	△14,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	759	1,106
長期借入れによる収入	6,500	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,734	△1,556
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△2,717	△3,576
非支配株主への配当金の支払額	△449	△419
自己株式の取得による支出	△1	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△2,913
その他	△714	△901
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,641	△5,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,034	△3,508
現金及び現金同等物の期首残高	47,970	56,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,005	53,268

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

IFRSを適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上しています。本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しています。

なお、本会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	91,770	44,263	49,038	7,857	4,261	69,216	2,577	268,986	—	268,986
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,180	64	1,850	505	232	15,387	4,896	26,117	△26,117	—
計	94,950	44,328	50,888	8,362	4,494	84,604	7,474	295,103	△26,117	268,986
セグメント利益	10,803	1,164	4,025	121	377	2,114	781	19,387	△3,299	16,088

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,299百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「調理・調味料」で減損損失を550百万円計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	87,528	44,209	45,441	8,341	3,951	69,838	3,745	263,057	—	263,057
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,267	67	1,375	448	217	15,312	4,940	25,629	△25,629	—
計	90,796	44,276	46,816	8,790	4,169	85,151	8,686	288,687	△25,629	263,057
セグメント利益	9,153	1,662	1,075	239	393	1,107	734	14,367	△3,173	11,194

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,173百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれていま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

事業分離

当社は、2020年3月26日開催の取締役会決議に基づき2020年4月27日付で当社の連結子会社であるKIFUKI U. S. A. CO., INC. が所有するHENNINGSEN FOODS, INC.（以下、「HENNINGSEN FOODS」。第2四半期末は3月31日。）の全株式をPOST HOLDINGS, INC.（以下、「POST」）の子会社であるMichael Foods of Delaware, Inc.（以下、「MFI」）に譲渡することをPOSTと合意し、MFIと株式譲渡契約を締結、この度株式譲渡を行いました。これに伴い、HENNINGSEN FOODSは連結の範囲から除外されます。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

Michael Foods of Delaware, Inc.

(2) 分離した事業の内容

鶏卵加工品・乾燥肉の製造および販売

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、2019年1月11日発表の「2019-2021年度 キユーピーグループ中期経営計画」に基づき、海外展開については、中国・東南アジア市場を中心とした展開を掲げるとともに、タマゴ事業として最適な事業体制の構築に向け、拠点集約による生産合理化を推進しています。そのような状況において、米国子会社であるHENNINGSEN FOODSの今後についてもさまざまな選択肢について検討した結果、同社の持続的成長を支援できる第三者への譲渡が当社およびHENNINGSEN FOODSにとって最善であると判断し、株式譲渡の検討を進めていました。

慎重に検討を重ねた結果、米国内外に強固なネットワークや事業基盤を有するMFI（※）の下でビジネスを強化することがHENNINGSEN FOODSの持続的成長と企業価値の向上に資すると判断、HENNINGSEN FOODS全株式を譲渡することとし、この度株式譲渡を実行しました。

※MFIは米国ミネソタ州に拠点を置く食品製造販売企業です。

(4) 事業分離日

2020年7月1日

(5) 法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 2013年9月13日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、会計処理を行う予定です。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

タマゴ事業

4. 当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	2,459百万円
営業損失	47百万円

2020年11月期
第2四半期
決算補足説明資料

2020年7月2日
キューピー株式会社
証券コード：2809

目次

1. (1) 事業別 四半期毎売上高・営業利益	1
(2) 営業利益の増減要因	2
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別 販売量および金額（キューピー株式会社）	2
2. 海外 エリア別売上高・利益	3
3. 為替レート（期中平均為替レート）	3
4. 主原料相場の推移	4
5. 設備投資と主要な販売費・一般管理費	4
6. 営業外・特別損益の主な増減内容	5
7. 貸借対照表の概要、増減内容	5
8. キャッシュ・フローの主な増減内容	6
9. サステナビリティ目標の状況	6
10. 2020年11月期 計画	7
11. 主要な経営指標等の推移	10

■本資料の記載について

- ・ 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入しています。
- ・ 2020年度通期は、2020年7月2日発表の計画数値を示しています。
- ・ 海外の数値は、10月から3月が対象となり、日本からの輸出を含んでいます。
なお、日本からの輸出は12月から5月が対象となります。

1. (1) 事業別 四半期毎売上高・営業利益

単位：億円

■売上高

	2019年度						2020年度					
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	2Q累計	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	2Q累計	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期予想 (7/2発表)
調理・調味料	431 △ 1	486 + 6	918 + 4	477 △ 5	458 + 10	1,852 + 9	440 + 8	436 △ 51	875 △ 42			1,809 △ 43
国内	333 △ 6	381 △ 2	714 △ 8	362 △ 13	344 + 4	1,421 △ 16	332 △ 2	337 △ 44	669 △ 46			1,385 △ 36
海外	98 + 5	105 + 8	203 + 12	115 + 7	113 + 6	432 + 25	108 + 10	99 △ 6	207 + 3			424 △ 8
サラダ・惣菜	214 △ 86	228 △ 83	443 △ 169	231 △ 86	229 △ 25	903 △ 280	218 + 4	224 △ 5	442 △ 1			905 + 2
タマゴ	234 △ 7	256 + 2	490 △ 6	250 + 1	260 △ 4	1,000 △ 9	243 + 9	211 △ 45	454 △ 36			865 △ 135
国内	220 △ 8	244 + 2	464 △ 6	236 △ 1	247 △ 0	948 △ 7	230 + 10	199 △ 45	430 △ 35			831 △ 117
海外	14 + 0	12 + 0	26 + 1	14 + 1	13 △ 4	52 △ 2	13 △ 2	12 + 0	25 △ 1			34 △ 18
フルーツ ソリューション	35 △ 1	44 △ 2	79 △ 3	40 △ 1	38 + 2	156 △ 2	36 + 1	47 + 3	83 + 5			166 + 10
ファインケミカル	20 △ 1	22 △ 4	43 △ 5	18 △ 9	23 △ 3	83 △ 17	17 △ 3	22 + 0	40 △ 3			79 △ 4
物流	336 + 11	356 + 12	692 + 22	358 + 2	359 + 3	1,410 + 27	351 + 15	347 △ 9	698 + 6			1,416 + 6
共通	12 △ 3	14 △ 1	26 △ 3	11 △ 1	15 △ 2	53 △ 6	26 + 14	12 △ 2	37 + 12			60 + 7
合計	1,283 △ 89	1,407 △ 71	2,690 △ 160	1,385 △ 100	1,383 △ 18	5,457 △ 278	1,331 + 48	1,299 △ 108	2,631 △ 59			5,300 △ 157

■営業利益

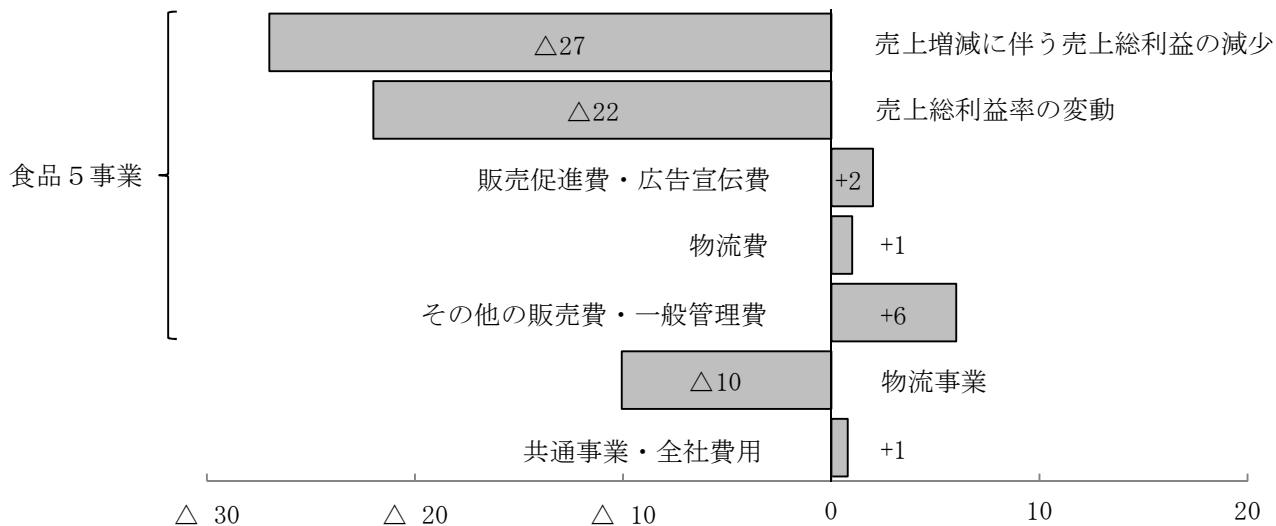
	2019年度						2020年度					
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	2Q累計	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	2Q累計	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	通期予想 (7/2発表)
調理・調味料	42 + 4	66 + 6	108 + 10	57 △ 0	51 + 8	216 + 18	41 △ 2	51 △ 15	92 △ 17			189 △ 27
国内	35 + 1	54 + 1	88 + 1	46 △ 2	42 + 7	176 + 6	31 △ 4	42 △ 12	73 △ 16			155 △ 21
海外	8 + 4	12 + 6	20 + 9	12 + 1	8 + 1	40 + 11	10 + 2	9 △ 3	19 △ 1			34 △ 6
サラダ・惣菜	2 △ 4	10 △ 4	12 △ 8	9 △ 4	11 + 1	32 △ 11	6 + 4	11 + 1	17 + 5			36 + 4
タマゴ	20 + 3	20 △ 1	40 + 2	21 + 1	13 △ 6	74 △ 4	11 △ 9	△ 0 △ 21	11 △ 30			32 △ 42
国内	18 + 1	20 △ 0	39 + 1	21 + 2	14 △ 4	74 △ 1	11 △ 7	0 △ 20	11 △ 27			33 △ 41
海外	1 + 2	0 △ 1	2 + 1	1 △ 1	△ 2 △ 2	1 △ 3	0 △ 1	△ 1 △ 1	△ 0 △ 2			△ 1 △ 2
フルーツ ソリューション	△ 0 △ 3	2 △ 2	1 △ 4	1 △ 1	1 + 2	3 △ 4	△ 1 △ 0	3 + 1	2 + 1			4 + 1
ファインケミカル	△ 0 △ 0	4 + 0	4 + 0	3 △ 2	5 △ 0	12 △ 2	△ 0 + 0	4 + 0	4 + 0			12 △ 0
物流	7 + 1	14 △ 2	21 △ 0	12 △ 3	8 △ 2	41 △ 5	7 △ 1	4 △ 9	11 △ 10			28 △ 13
共通	4 △ 0	4 + 0	8 + 0	3 △ 0	2 △ 1	13 △ 1	3 △ 1	4 + 0	7 △ 0			10 △ 3
全社費用	△ 15 + 2	△ 18 △ 0	△ 33 + 2	△ 19 △ 2	△ 20 + 0	△ 72 △ 1	△ 16 △ 1	△ 16 + 2	△ 32 + 1			△ 71 + 1
合計	60 + 3	101 △ 2	161 + 1	89 △ 12	70 + 1	320 △ 10	51 △ 9	61 △ 40	112 △ 49			240 △ 80

1. (2) 営業利益の増減要因

単位：億円

	2019年度	2020年度	増減
	2Q累計	2Q累計	
営業利益	161	112	△ 49

単位：億円



1. (3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額 (キューピー株式会社)

		2018年度	2019年度	2020年度	前年差	増減率
		2Q累計	2Q累計	2Q累計		
家庭用	販売量 (千 t)	62	65	66	1	2%
	金額 (億円)	317	323	324	2	1%
業務用	販売量 (千 t)	53	51	45	△ 7	△ 13%
	金額 (億円)	202	194	168	△ 26	△ 13%
輸出	販売量 (千 t)	2	3	3	△ 0	△ 5%
	金額 (億円)	10	12	12	△ 1	△ 4%

※輸出には、家庭用、業務用を含む。

2. 海外 エリア別売上高・利益

単位：億円

■ エリア別売上高

	2018年度	2019年度	2020年度	前年差	増減率	現地通貨ベース	2020年度	2Q 前年差
	2Q累計	2Q累計	2Q累計			成長率	2Q (3-5月)	
中国	87	92	82	△ 11	△ 12%	△ 7%	37	△ 13
東南アジア	49	54	62	8	15%	15%	30	3
米国	58	58	63	6	10%	13%	33	5
調理・調味料	32	32	39	7	23%	26%	21	5
タマゴ	26	26	25	△ 1	△ 5%	△ 3%	12	0
欧州	16	16	15	△ 1	△ 5%	1%	7	0
輸出	18	20	16	△ 4	△ 19%	—	8	△ 3
合計	227	240	238	△ 1	△ 1%	—	115	△ 7

※前年差の合計には、為替影響△ 6 億円を含む。

■ エリア別利益

	2018年度	2019年度	2020年度	前年差	増減率	現地通貨ベース	2020年度	2Q 前年差
	2Q累計	2Q累計	2Q累計			成長率	2Q (3-5月)	
中国	8	14	10	△ 4	△ 30%	△ 26%	4	△ 5
東南アジア	3	4	6	2	44%	44%	3	1
米国	3	4	3	△ 1	△ 23%	△ 21%	2	0
調理・調味料	2	2	4	1	59%	63%	2	1
タマゴ	1	2	△ 0	△ 2	—	—	△ 1	△ 1
欧州	△ 2	△ 0	△ 1	△ 1	—	—	△ 1	△ 0
輸出	3	4	3	△ 1	△ 22%	—	2	△ 0
その他費用	△ 2	△ 2	△ 1	1	—	—	△ 0	1
合計	13	24	20	△ 4	△ 16%	—	9	△ 4

※前年差の合計には、為替影響△ 1 億円を含む。

3. 為替レート（期中平均為替レート）

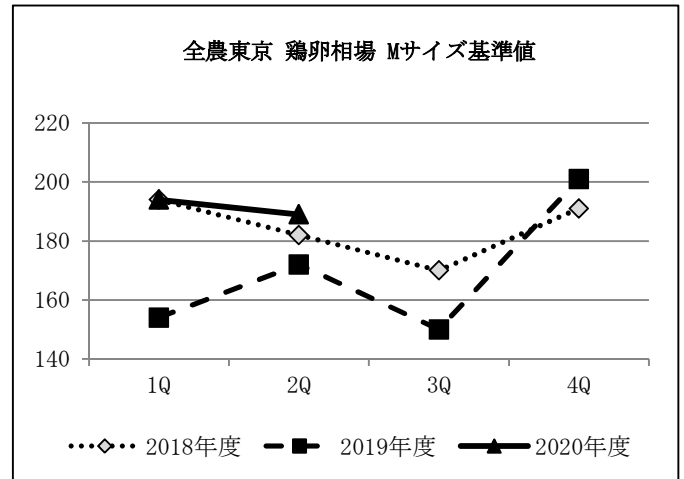
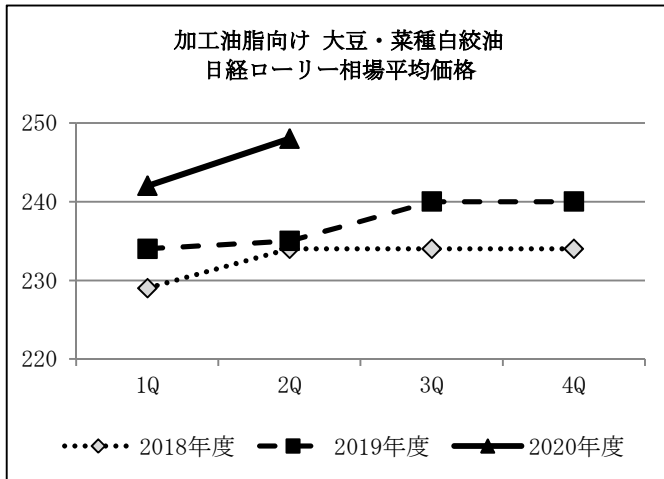
単位：円

	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	年初計画
米国ドル（1 \$ 当たり）	111	112	109	105
人民元（1 元 当たり）	17	16	16	15

4. 主原料相場の推移

単位：円/kg

	2018年度				2019年度				2020年度				年間指標
	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	1Q (12-2月)	2Q (3-5月)	3Q (6-8月)	4Q (9-11月)	
加工油脂向け 大豆・菜種白絞油 日経ローリー相場平均価格	229	234	234	234	235	239	240	240	242	248			251
全農東京 鶏卵相場 Mサイズ基準値	194	182	170	191	154	172	150	201	194	189			177



5. 設備投資と主要な販売費・一般管理費

単位：億円

	2018年度	2019年度	2020年度	前年差	2020年度	2Q 前年差
	2Q累計	2Q累計	2Q累計		2Q (3-5月)	
設備投資	132	161	151	△ 10	81	△ 14
減価償却費	89	92	98	6	51	4
販売促進費	19	18	19	1	9	0
広告宣伝費	50	50	47	△ 3	20	△ 4
物流費	135	128	129	1	64	△ 2
労務費	162	166	165	△ 1	82	△ 3
研究開発費	19	19	18	△ 0	10	△ 0

6. 営業外・特別損益の主な増減内容

単位：億円

	2019年度	2020年度	増減	増減要因
	2Q累計	2Q累計		
営業外損益	8	2	△ 7	補助金収入の減少 △ 3 支払手数料の増加 △ 1
特別損益	△ 4	△ 10	△ 6	事業譲渡益の減少 △ 6

7. 貸借対照表の概要、増減内容

単位：億円

	2019年度	2020年度	増減	増減要因
		2Q		
資産の部				
流動資産	1,748	1,639	△ 109	現預金の減少 △ 35 売掛債権の減少 △ 80
固定資産				
有形・無形固定資産	2,174	2,228	55	取得による増加 + 135 減価償却による減少 △ 96 会計方針の変更による リース資産の増加 + 13
投資その他の資産	521	535	13	退職給付に係る資産の増加 + 7
負債の部	1,676	1,632	△ 44	仕入債務の減少 △ 44 借入金の増加 + 24 未払金の減少 △ 52 引当金の増加 + 13
純資産の部	2,768	2,770	3	杭州丘比食品 追加取得に伴う資本剰余金の減少 △ 17 利益剰余金の増加 + 20

※第1四半期連結会計期間より、IFRSを適用している在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上しています。

8. キャッシュ・フローの主な増減内容

単位：億円

	2019年度	2020年度	増減額	増減要因
	2Q累計	2Q累計		
営業活動による キャッシュ・フロー	168	167	△ 0	税金等調整前四半期純利益 △ 61 売上債権の増減額 + 91 仕入債務の増減額 △ 51 法人税等の支払額の減少 + 25
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 173	△ 148	25	有形固定資産の 取得による支出の減少 + 19
財務活動による キャッシュ・フロー	16	△ 55	△ 71	借入れによる収入の減少 △ 32 連結の範囲の変更を伴わない 子会社出資金の取得による支出 △ 29

9. サステナビリティ目標の状況

テーマ	指標	2020年度	2021年度	2030年度
		2Q累計	目標	目標
健康寿命延伸への貢献	サラダとタマゴのリーディングカンパニーとして ・1日当たりの野菜摂取量の目標値350gの達成に貢献 ・たんぱく質の摂取に貢献するため、卵の消費量アップを推進			
子どもの心と体の健康支援	グループの食育活動などで接する子どもの笑顔の数	13.0万人	2019年度から累計 20万人以上	2019年度から累計 100万人以上
資源の有効活用と持続可能な調達	グループで利用する 主要な野菜の未利用部	未利用部の 30.5%を 有効活用	未利用部の 30.0%以上を 有効活用	未利用部の 90.0%以上を 有効活用
	商品廃棄量	※ 12.8% (2015年度比)	△ 25.0%以上 (2015年度比)	△ 50.0%以上 (2015年度比)
CO2排出削減	CO2排出量	△ 6.8% (2013年度比)	△ 7.5%以上 (2013年度比)	△ 20.0%以上 (2013年度比)
ダイバーシティの推進	女性管理職比率 (キューピー株式会社)	— (期末のみ)	12.0%以上	30.0%以上

※自主回収分を含まない場合 △ 35.7%

10. 2020年11月期 計画

単位：億円

■ 連結業績予想

	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率
売上高	5,457	5,300	△ 157	△ 3%
国内 食品	3,543	3,408	△ 135	△ 4%
国内 物流	1,410	1,416	6	0%
海外	505	476	△ 29	△ 6%
営業利益	320	240	△ 80	△ 25%
国内 食品	306	246	△ 60	△ 20%
国内 物流	41	28	△ 13	△ 32%
海外	45	37	△ 8	△ 18%
全社費用	△ 72	△ 71	1	—
経常利益	333	242	△ 91	△ 27%
親会社株主に帰属する 当期純利益	187	77	△ 110	△ 59%
ROA（総資産利益率）（%）	7.7	5.5	△ 2.2	△ 29%
EBITDA （営業利益＋減価償却費）	507	438	△ 69	△ 14%

■ 重点指標

	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率
営業利益率（%）	5.9	4.5	△ 1.4	△ 24%
ROE（自己資本純利益率）（%）	8.1	3.3	△ 4.8	△ 59%
国内3事業 事業利益率（%）	8.6	7.2	△ 1.4	△ 16%
中国・東南アジア売上高成長率 （現地通貨ベース）（%）	111	98	△ 13.0	△ 12%

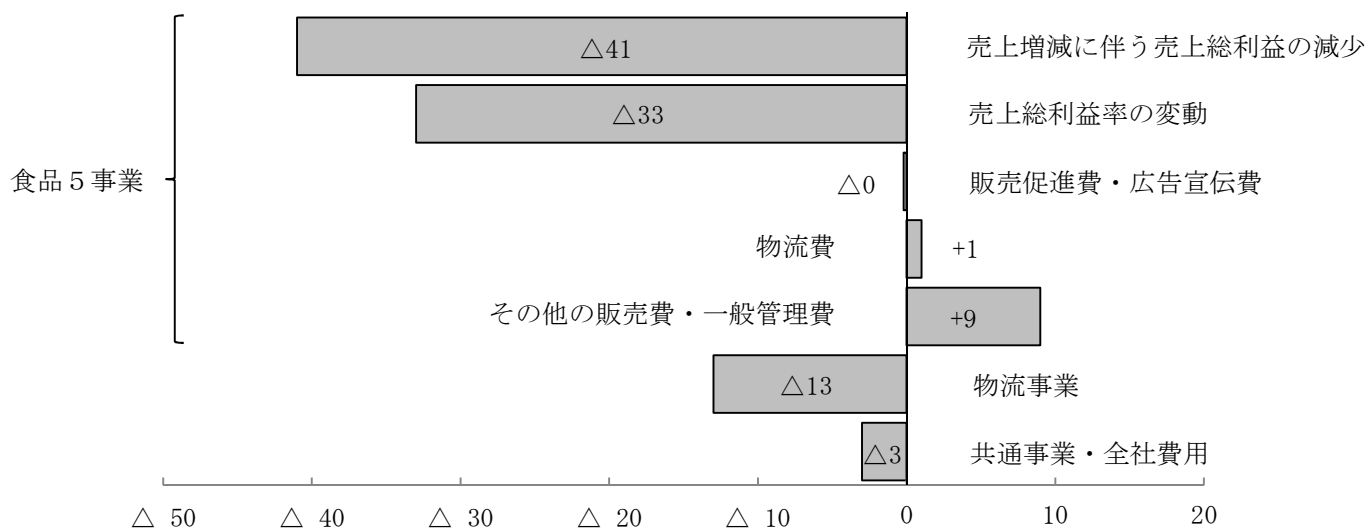
※国内3事業は、国内調理・調味料事業、サラダ・惣菜事業、国内タマゴ事業を示しています。

■ 営業利益の増減要因

単位：億円

	2019年度	2020年度 計画	増減
営業利益	320	240	△ 80

単位：億円



■国内主力3事業 業態別売上高・営業利益

単位：億円

【家庭用】		2Q累計				通期			
		2019年度	2020年度	前年差	増減率	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率
調理・調味料	売上高	400	409	9	2%	791	854	63	8%
	営業利益	54	54	0	0%	110	112	2	2%
サラダ・惣菜	売上高	399	409	10	2%	820	836	16	2%
	営業利益	10	17	7	75%	30	38	9	30%
タマゴ	売上高	2	2	△ 0	△ 2%	4	4	△ 0	△ 5%
	営業利益	△ 1	△ 1	△ 0	—	△ 1	△ 0	1	—

【業務用】		2Q累計				通期			
		2019年度	2020年度	前年差	増減率	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率
調理・調味料	売上高	314	260	△ 54	△ 17%	630	531	△ 99	△ 16%
	営業利益	35	19	△ 16	△ 45%	66	43	△ 23	△ 35%
サラダ・惣菜	売上高	44	34	△ 10	△ 23%	83	69	△ 14	△ 16%
	営業利益	2	△ 0	△ 2	—	2	△ 2	△ 5	—
タマゴ	売上高	462	428	△ 35	△ 7%	944	827	△ 116	△ 12%
	営業利益	39	12	△ 27	△ 69%	75	33	△ 42	△ 56%

単位：億円

■海外エリア別売上高	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率	現地通貨ベース
					成長率
中国	203	186	△ 17	△ 8%	△ 5%
東南アジア	111	119	8	8%	6%
米国	122	111	△ 11	△ 9%	△ 8%
調理・調味料	69	77	8	11%	12%
タマゴ	52	34	△ 18	△ 35%	△ 34%
欧州	28	24	△ 5	△ 16%	△ 14%
輸出	41	36	△ 5	△ 12%	—
合計	505	476	△ 28	△ 6%	—

■海外エリア別利益	2019年度	2020年度 計画	前年差	増減率	現地通貨ベース
					成長率
中国	30	19	△ 10	△ 35%	△ 33%
東南アジア	8	10	2	31%	29%
米国	6	6	△ 1	△ 13%	△ 12%
調理・調味料	5	7	1	21%	22%
タマゴ	1	△ 1	△ 2	—	—
欧州	△ 3	△ 3	△ 0	—	—
輸出	8	6	△ 1	△ 15%	—
その他費用	△ 3	△ 1	2	—	—
合計	45	37	△ 8	△ 18%	—

■設備投資と主要な販売費・一般管理費 単位：億円

	2019年度	2020年度 計画	前年差
設備投資	286	260	△ 26
減価償却費	186	198	12
販売促進費	40	44	4
広告宣伝費	95	91	△ 4
物流費	260	261	1
労務費	337	334	△ 3
研究開発費	42	42	1

11. 主要な経営指標等の推移

	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2019年
		2Q累計	2Q累計	2Q累計	11月期
売上高	百万円	285,004	268,986	263,057	545,723
営業利益	百万円	15,961	16,088	11,194	32,048
売上高営業利益率	%	5.6	6.0	4.3	5.9
経常利益	百万円	16,543	16,937	11,385	33,275
売上高経常利益率	%	5.8	6.3	4.3	6.1
四半期（当期）純利益	百万円	9,070	9,556	5,643	18,698
売上高四半期（当期）純利益率	%	3.2	3.6	2.1	3.4
純資産額	百万円	271,294	272,535	277,031	276,753
総資産額	百万円	426,422	426,379	440,217	444,309
自己資本比率	%	54.6	54.3	53.7	53.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	17,537	16,780	16,748	43,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 13,516	△ 17,285	△ 14,773	△ 29,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 3,461	1,641	△ 5,461	△ 4,602
フリーキャッシュ・フロー （営業CF+投資CF）	百万円	4,021	△ 504	1,975	14,195
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	百万円	42,287	49,005	53,268	56,777
有利子負債	百万円	61,046	66,756	70,315	65,962
1株当たり純資産額	円	1,584.81	1,618.50	1,652.61	1,646.73
1株当たり四半期（当期）純利益	円	61.69	66.81	39.45	130.72
1株当たりフリーキャッシュ・フロー	円	27.35	△ 3.53	13.81	99.24
1株当たり第2四半期（年間）配当額	円	19.0	20.0	20.0	45.0
第2四半期末（期末）株価	円	2,631	2,431	2,109	2,433